

外国語活動学習指導案

指導者 榎原 朱梨

日時 令和4年11月19日（土）第2校時 10:25～11:10

年組 小学校 複式中学年 計15名

（3年：男子4名，女子3名，4年：男子4名，女子4名）

場所 小学校複式中学年教室

単元 What do you want? 欲しいものを集めよう

単元について

本単元では、What do you want? や I want ～, please. などの表現を用いて欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを答えたりすることに慣れ親しむことをねらいとしている。日常生活での実際の会話では、他者に欲しいものを尋ねるときは、何が欲しいかを尋ねるだけではなく、その欲しいものの色、形、大きさ、数量などといったより詳細な情報についても尋ねることが多いだろう。そのため、本単元でも今まで学習した色や文房具などの単語を用いて自分の欲しいものを答えるだけでなく、今まで学習した How many?などの表現を用いることで、英語を学習し始めたばかりの小学校中学年の児童でも他者の欲しいものについて詳しく知ったり、自分の欲しいものについてより詳細に伝えたりすることができると考えられる。また、相手の欲しいものを実際に渡す活動を行う際には、Here you are.などの一言を添えるなど相手意識のあるコミュニケーションを考え、図る場にもなる。このように、今まで学習した表現や単語を学習した場面や状況とは異なる場面や新たな状況の中で活用することをねらいとすることができる単元でもある。

本学級は、3年生7名，4年生8名の異学年集団である。国語科や算数科などは学年別で授業を行っており、両学年とも日直が中心となってガイドをもとに自分たちで学習を進めている。両学年が一緒に学習を行う図画工作科や体育科などでは、上学年である4年生が、3年生に教える姿が見られる。外国語活動は、2年間の学習内容を圧縮し、2年にわたり学習する「繰り返し一本案」で学習を行っている。そのため、4年生児童らは昨年度に既に自分の好きなもの、欲しいもの、持っているもの、お気に入りのものや場所、道案内などについて学習しており、本単元で学習する表現についても慣れ親しんでいる。3年生も1年生の時から月1回程度の英語の時間を経験しており、歌などを通して英語に慣れ親しんできた。また、他教科と同じように授業では、4年生が3年生に教える姿や、3年生からも分からないことや困ったことがあれば4年生に尋ねる姿が見られる。しかしながら、どちらの学年にも英語を話すことに不安を抱いている児童がいる。「どういったらいいのかわからない」「間違えることが怖い」といった児童の思いを踏まえ、十分に表現に慣れ親しむことができる機会を設けるとともに、児童ら自身が興味のある題材を設定することで、伝えたいという意欲をもって活動できるようにしたい。その中で、自分の伝えたいことを伝えられたという経験を段階的に積むことで、児童自身が教科等本来の魅力を感じることをめざしたい。

指導にあたって、児童自身が教科等本来の魅力を感じるためには、意欲的に学習に取り組むことが不可欠である。そこで、本単元では「複式高学年の児童に向けて、Thank you ポスターを作ろう」という言語活動場面を設定する。複式高学年児童とは、日頃から複式での交流の際や生活の中で関わる場面がある。そのため、コミュニケーションの相手として設定することで、積極的に質問を行い、相手のことを知ろうとする姿、複式高学年のお兄さんやお姉さんに向けてポスターを作るために必要なものを意欲的に集めようとする姿が想定される。

さらに、本学級が複式学級であることを踏まえて、単元を通して4年生が今までの学習を生かし発話や活動のモデルとなって活躍できるよう、デモンストレーションの仕方やペアの組み方を工夫するようにする。また、人数が少ないため、同学年内はもちろん、異学年児童同士であってもお互いのことをよく知っている間柄である。そのため、第2時の Thank you ポスターを作る際に、本学級の児童らが複式高学年児

童に実際にインタビューを行う活動を取り入れることで、人数が限られた複式学級においても多様なコミュニケーションの機会を確保することができるようにする。その際、本単元で慣れ親しむ表現である **What do you want? I want ~, please.**ではなく、本単元の目的、コミュニケーションの状況に合わせて既習の like を用いることになる。このように既習事項を取り入れながら活動を行うことで、児童が自ら既有知識をもとに会話を広げたり、自分の尋ねたいことに応じて使い分けたりする力を養うことにつなげたい。

本時では、第2時でのインタビューをもとに、**Thank you** ポスターを作るために必要な材料を集める活動を行う。本活動では、ちぎり絵で児童らの表したいものを作成する。その過程では、欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりするやりとりはもちろんだが、必要な材料を集めるやりとりをする中で、数や大きさなどを質問したり、伝えたりする姿が想定される。その姿を取り上げ、共有することで既習の表現や単語を新たな場面で活用するという意欲につなげていきたい。

指導目標

- ・ **What do you want?**や **I want ~, please.**などを用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しむようにする。
- ・ 相手に伝わるように工夫しながら、色や文房具などの身の回りにあるものについて、何が欲しいかを尋ねたり、欲しいものを答えたりして伝え合うようにする。
- ・ 相手に伝わるように工夫しながら、色や文房具などの身の回りにあるものについて、何が欲しいかを尋ねたり、欲しいものを答えたりして伝え合おうとする態度を養う。

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やりとり]	ウ サポートを受けて、児童や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

指導計画

時	●目標 ○主な学習活動	評価規準		
		知技	思判表	態度
1	●単元のゴールを知り、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。			
	○ What do you want? I want ~, please. の表現を聞いたり、実際に言ったりして慣れ親しむ。			
2	● Thank you ポスターを作るために、好きなものについてインタビューを行う。			
	○複式高学年児童が喜んでくれるポスターを作るために、 What do you like? を用いて好きなものに関するインタビューを行う。			
3	●欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。			
	○ Listening Activity			
	○ペアで欲しいものを尋ねたり答えたりし、表現に慣れ親しむ。 ○ Thank you ポスターを作るために必要な文字を集める。	聞		
4 (本時)	●相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを尋ねたり答えたりする。			
	○インタビューをもとに、複式高学年の児童が喜んでくれる Thank you ポスターに必要な材料を集める。	や	や	や

本時の目標

相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを答えたりする。

「教科等本来の魅力に迫るための教員の資質・能力」との関連

単元を構想するにあたって、複式高学年児童に向けた「Thank you ポスターの制作」といった物を作ったり、身近な相手への感謝の気持ちを表したりするといった学校生活に密着したコミュニケーションの目的や場面を設定した。児童が活動をイメージしやすくなるため、活動への抵抗感が減るとともに、既習事項を活用するなどの工夫も加えながら意欲的にコミュニケーションを図ったりする姿や、表現等の定着につながったりすると考えた。【授業構想力】

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. Greeting 2. Presentation of Today's Goal and Teacher's Talk ・例として示したThank youポスターに必要な材料を集める。	○英語で授業を開始することで、英語を話す雰囲気を作ることができるようにする。 ○単元のゴールを再確認することで、目的や場面を意識して活動ができるようにする。 ○例を示してデモンストレーションを行うことで、やりとりのイメージをもつとともに表現の復習ができるようにする。
Thank you ポスターに必要な材料を集めよう。	
3. Communication and Reflection ・お店屋さんと買い物客に分かれ、欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。 ・活動の間には適宜振り返りを行う。 <u>想定される児童らのやりとり</u> A) What do you want? B) I want ~, please. A) How many? B) Two, please. A) Here you are. B) Thank you.	○買い物活動の間で中間振り返りを適宜行うことで、よく見られた間違いや児童の困ったことを共有し、次の活動に生かすことができるようにする。 ○既習事項やジェスチャー等を使って相手に伝えようとするなどの工夫をしている姿を取り上げ、やりとりをよりよくすることができるようにする。 ◆ What do you want? や I want ~, please.などを用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 ◆相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを答えたりしている。 ◆相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを答えたりしようとしている。
4. Reflection of Today's Lesson 本時の活動について振り返りシートに記入する。	○できたことや友達の仕事について振り返ることで、本時の学びを次時へつなげ、よりよい伝え方について考えることができるようにする。